青　空

北九州市立洞北中学校　学校通信
校長　　竹中　雅則

令和５年４月１４日
第２号

３学年そろっての対面式を行いました！

感染対策を行いながらも、集会の制限が緩和され、全校生徒が久しぶりに体育館にそろいました。令和５年度は１学年200名、2学年213名、3学年188名で、**合計601名の大所帯**です。昔ながらの体育館がさらに小さく感じます。

対面式は、事前の準備や先生方へのインタビュー、当日の運営まで**すべて生徒会のみなさんが頑張ってくれました**👍先生方の面白エピソードや、あっと驚く趣味の披露があり、笑顔があふれる集会になりました。

緊張していた1年生も楽しんでくれたようで何よりです。改めて**チーム洞北の素晴らしさ**を感じた行事でした。

私から「チーム洞北」をサッカーチームに例えて、以下のように各学年生徒の**期待する「役割」**を伝えました。どのように考えて行動してくれるか楽しみです。

【1年生】

前線で動き回る点取り屋「フォワード」。止まって下を向いていたらいいパスはきません。**常に周りを見て積極的**に動いて、苦手なことでも失敗を恐れずに何度もチャレンジしてください。必ずゴールが生まれます。

【2年生】

中盤の要「ミッドフィルダー」。360度の視野で周りを見て、時には攻め、時には守り、チームのバランスをとるチームの柱。**ここがしっかりすればチームが締まります**。

【3年生】

腕にキャプテンマークをつけたチームの砦「ゴールキーパー」。どんと構えてチームのすべてが見える位置にいて、ミッドフィルダーに指示を出して動かし、フォワードの選手にパスを出してチームを活性化します。**チームの大黒柱。ここが安定すれば負けることはありません**。

【教職員】

チームの「監督、コーチ」。たくさんコーチングして技術や戦術を教えますが、フィールドに立ってプレーするのは生徒たち。考えてプレーができるように**全力でサポート**します。

【地域の方々・保護者のみなさん】

「チーム洞北」を様々な場面で応援してくれる「サポーター」。**応援が力**となり、さらにチームは一回りも二回りも成長します。

4月12日
早朝から通学の見守りをしていただいた「地域ぐるみで子どもを守る会」「保護司会」のみなさん

地域の方々に守られています！

市内でも数少ない自転車登校がある本校。通学路の範囲も広く、交通量も多いため、事故が心配です。

そうした中でも生徒が安全に登校できるのは、地域の方々のご協力とご理解によるものです。ありがとうございます。

絶対に事故にあわないように、**「自分の命を自分で守るための考えた行動」**をとりましょう。